



S.F 英語英文学科 2年次

参加期間： 2016年2月12日～3月13日（4週間）

受入校： Copperfield College（Melbourne）

I. 教育実習について

私は Year8-Year12（中学二年生から高校三年生）、主に Year10,11,12 の授業にアシスタントとして参加させていただきました。Year11 では作文の添削や手紙の書き方について授業をしたり、Year12 は受験の年なので、会話練習を一緒にしたりしました。他にも、漢字テストやパワーポイントの作成、小テストの丸付け、発音チェックやリスニング教材の音読といったたくさんのお仕事をさせていただきました。どのクラスに行っても、先生、先生！と名前を呼んで歓迎してくれて、本当に嬉しかったです。日本語は覚えることが多くて大変な科目らしく、少しでも楽しく学んでもらおうと、先生たちが授業にも課題にもたくさん工夫をしていたのが印象的でした。カードやパワーポイント、映像やちょっとしたゲームを取り入れた授業は、見ているだけで楽しかったです。



また、授業中に先生の説明を聞いたり、生徒から質問されたりすることで、普段深く考えずに使っている日本語を違う観点からみることができ、とても新鮮でおもしろかったです。ただ、英語が得意でなかったこともあり、間違っている箇所を指摘することはできても、なぜ間違っているのかをきちんと直接伝えてあげることができなかったのは、とても申し訳なかったし、悔しかったです。授業外では、

いろいろなミーティングに参加させてもらったり、先生たちと一緒にチャリティのウォーキングに参加したり、濃い経験ができました。実習最終日には、一緒にお昼ご飯に巻き寿司を作ったり、食べ物を持ち寄ってパーティーをしてくれたり、手作りのメッセージカードをもらったり、同じオフィスの先生たちからもプレゼントをもらったりして、本当に幸せを感じた4週間でした。

II. ホストファミリーについて

ホストマザーがCopperfield Collegeの受付で働いていたので、毎朝一緒に車で通って、帰りも一緒に帰って来ていました。とにかくアクティブな人で、メルボルンにいる間は休む暇なんてないよという言葉通り、毎週末朝から晩までどこかに連れて行ってくれました。何もかもが新しく、すごく楽しかったです。一緒に





住んでいるホストシスターの旦那さんがドイツの方だったので、ドイツ料理も食べさせてもらいました。びっくりするぐらい何のストレスもなく約4週間過ごさせていただきました。私は英語も得意じゃないし、人と話すのもあまり得意じゃないので、しっかりとした会話はあまりできませんでした。とても申し訳なかったのですが、それでも別れるときには、また絶対においでねと言ってくれて本当に嬉しかったです。ホストファミリーには感謝でいっぱいです。また、最後の2日間は急遽学校でお世話になっている先生のおうちにステイさせてもらいました。メルボルン最後だから！とご飯に連れて行ってくれたり、お土産を一緒に選んでくれたり、本当に親切にさせていただきました。初めてのホームステイでとても不安でしたが、素敵なホストファミリーと出会うことができ、本当によかったです。

Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

このTJFLプログラムは他にはない本当に貴重な経験ができると思います。大学生の歳で、外国の中学高校に行って、そのうえ職員室におじゃまさせてもらって、先生たちともかなり深く関わって、普通の留学でも昔外国の学校に通っていた帰国子女でも絶対にできない経験です。英語が多少話せなくても、私たちが日本語をうまく話せない外国人にするのと同じように、じっくり聞いて理解しようとしてくれます。そして何より、憧れの日本語ネイティブスピーカーとして迎えてくれます。迷っているなら行くべきです。アシスタントとして日本語を教えに行くという点以外の、異文化に触れる点でも、外国で生活してみるという点でも、きっと損にはならないと思います。あと、持って行ったほうがいいものとして、小さめのノートをおすすめします。授業中に歩き回って生徒のノートやプリントを見ていると、文法はもちろん平仮名や片仮名、漢字など間違っている生徒が多いのですが、口で言っても理解されないし、うまく説明できないので、小さめのノートを持ち歩いてそこに大きくローマ字の読み仮名などと一緒に書いてみせてあげると、おお！と理解してくれる子が多かったです。





R.A 英語英文学科 2 年次

参加期間： 2016 年 2 月 12 日～3 月 13 日（4 週間）

受入校： Beaumaris Primary School（Beaumaris, Victoria）

I. 教育実習について

私がお世話になった Beaumaris Primary School は静かな住宅街の中にある私立の小学校でした。広々とした校内で生徒がのびのびと学習できる環境が整っている素敵な学校でした。Year1～Year6 まで学年があり、加えて Preparatory Year（Prep）と呼ばれる小学校入学前の子供たちも所属していました。生徒数は約 500 人です。すべての生徒が日本語の授業を受けていました。



コマ数は 26 コマで 1 コマ 50 分、月曜日から金曜日までほぼ毎日授業がありました。日本語教師の先生は主に 2 人いらっしゃり、水曜日だけもう一人の日本語教師の方が授業を行っていらっしゃいました。教室には大きなこいのぼりや和太鼓、日本人形などがあり、まるで日本にいるような感覚になりました。授業では日本語教師の先生が主に授業を進め、私がアシスタントとして折り紙の折り方の説明を日本語で行ったり、生徒の日本語が正しいかどうか聞いたり、

生徒が書いた日本語をチェックしたりしました。授業内容は週ごとに変わり、1 週目は節分について学習し、『おにのパンツ』の童謡を一緒に歌ったり、鬼の仮面を作ったりしました。2 週目は折り紙でロケットや箱などを一緒に作り、3 週目はひな祭りについて学習しました。女の子は着物を着て授業を受け、折り紙でお雛様とお内裏様をつくりました。4 週目は数字を漢字で書いて読む練習をしました。iPad で書き方をレクチャーしてその後プリントで書く練習をしました。中には百や千を超える数字を漢字で書くことのできる生徒もいて驚きました。授業準備としては、1 週目と 1 週目の空き時間に全生徒一人ひとりにカタカナで書いた名前の書かれたネームカードを作ったり、日本語で月日・天気などを書いたカードを作ったり、毎時間生徒が先生と一緒に日本語で日付と天気を確認できるようなものもつくりました。日本語の授業だけでなく、空きコマに他の授業にお邪魔して生徒と一緒に折り鶴を作ったり、手裏剣を作ってあげたりもしました。折り紙 1 枚でいろんな形のものが出来るのが不思議で面白かったみたいです。生徒は積極的に授業に取り組んでおり、ほとんどの生徒が自分のカタカナ表記の名前を読むことができたり、生徒によっては日本語で自己紹介をすらすらと私にしてくれたりと一人ひとり日本語能力の高さに驚きました。休み時間に私を見かけると「こんにちは」と自主的にあいさつしてくれる生徒もあり、本当に日本語が大好きな気持ちが伝わってきました。





Ⅱ. ホストファミリーについて

ホストファミリーの家は学校から歩いて 15 分ほどの場所にあり、ホストファザー、ホストマザー、ホストシスターが受け入れ先の学校の Year6 の女の子一人の三人家族でした。今まで何人も留学生を受け入れておられる方たちでした。朝食は自分でサンドイッチやシリアルを用意し



て食べ、昼食はあらかじめ作ったサンドイッチやホストファザーが作ってくれた昼食を持って行って学校で食べました。夕飯は料理好きのホストファザーがいろんな国の料理を作ってくれ、食前後には日本語で「いただきます」「ごちそうさま」を必ず言って家族みんなで食べるという感じでした。家族全員が明るく、お茶目でアクティブな事が大好きな素敵な家族で、時間があるときに一緒に卓球やバスケットをしたりしました。ホストシスターの習い事であるバスケットの試合を見に行っ

たり、オーストラリアンフットボールのルールやボールのけり方を教えてもらい、一緒にボールパスをやったりもしました。週末には近所の方やホストファミリーの親戚、友達などいろんな方を私に紹介してくださり、ホストマザーの父親の誕生日パーティーに一緒に行ったり、キャンプに連れて行ってくださったりしました。また、メルボルンのシティ付近の観光などにも連れて行ってくださったりもしました。私に本当の家族のように接してくださり、とても充実したステイを送ることができました。特にキャンプではオーストラリアの野生動物を間近で見ることが出来たり、きれいな海でのんびりしたり、山登りなどもしました。夜には見たことも様な満天の星空を眺め、他のホームステイでは決して味わえないような経験をすることが出来ました。本当にファミリーには感謝してもしきれません。



Ⅲ. 参加希望者へのアドバイス

もしも今参加を迷われている方がいらっしゃるなら、絶対に参加することをお勧めします。このプログラムは英語を使ってファミリーと話し、日本語や日本文化を教える事で英語力も伸びますし、日本語・日本文化の素晴らしさを改めて発見することができます。他の留学とは違う新たな体験ができるのではないかと思います。自分が日本と世界の一つの架け橋になれる、という一つの自信にもつながります。是非、日本の素晴らしさを海外に伝えてみてはいかがでしょうか。



M.Y 英語英文学科 2年次

参加期間： 2016年2月12日～ 3月13日（4週間）

受入校： Mentone Girls' Secondary College（Melbourne）

I. 教育実習について

日本語学習に力を入れているようで、修学旅行では日本の姉妹校を訪問したりホームステイをしたりしながら各地を旅行するそうだ。日本語は各クラス週に2回授業があり、7・8年生の2年間は必修で9年生から選択になる。7・8年生はゲームなどのアクティビティを取り入れることが多く、楽しく学ぼうという雰囲気が強かった。9年生からは学年



があがるにつれて授業も本格的になり、12年生は簡単な会話も問題なくできる。どの学年も授業中に積極的に発言したりすぐに質問したりするなど、とても賑やかで活気あふれるクラスばかりだった。また、何回か実際に授業をさせてもらい、雛祭りについてプレゼンをした時はとても熱心に話を聞いてくれたのでやりがいを感じることができた。

II. ホストファミリーについて



ホストファミリーの家は学校から車で20分くらいのところにあり、同じ学校に通うホストシスターと一緒に登校した。週末は、ホストシスターたちはアルバイトなどで忙しそうだったので一緒に出掛けることはあまりなかったが、教会や動物園など様々な場所に連れて行ってくれ、とても貴重な経験をさせてもらった。また、毎日その日の出来事を報告し合ったり、誕生日はどんなに忙しくても全員で揃って祝ったりして家族を大切にしている素敵な家族だった。

III. 参加希望者へのアドバイス

教師として学校生活を送ったり頼れる人が少ない中で生活したりするので大変なこともあったが、その分とても充実したものになったので参加してよかったと思う。これは他の留学プログラムでは経験できないことだと思うので、留学したいけど迷っているという人や少しでも日本語教師に興味がある人はぜひ参加してもらいたいと思う。